

今日のトピック 2022年7月の注目イベント
急ピッチで進む金融引き締め、インフレや雇用への影響は如何に

- 米国では7月26、27日に連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。米国では依然として歴史的な水準でのインフレ高進が続いており、連邦準備制度理事会（FRB）は、6月の会合で約27年ぶりの0.75%の利上げを決定しました。7月6日には、この時の議事要旨が発表されます。3月に利上げを開始して以降、インフレや雇用情勢に影響は出てきているのか、関連指標の発表にも注目です。
- 欧州では、欧州中央銀行（ECB）が6月の理事会で、7月から利上げを開始する意向を明らかにしています。欧州でも、物価安定のため継続的な利上げが見込まれており、今後の方針についてどのような見方が示されるのか、7月21日のECB理事会が注目されます。
- 日本では7月1日に日銀短観が発表されます。前回3月調査では、ウクライナ情勢の緊迫化を受けて業況判断DIが悪化しました。一方、3月下旬から急速に進んだ円安に対して、想定為替レートは実勢よりもかなりの円高水準が示されていました。ウクライナ情勢が長期化しつつあり、一段と進んだ円安に対して、企業はどのような見方をしているのか、6月調査の結果に注目です。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2022年7月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:6月ISM製造業景況指数 6日:FOMC議事要旨 、6月ISM非製造業景況指数 7日:5月貿易収支 8日:6月雇用統計	1日:ユーロ圏6月CPI 6日:ユーロ圏5月小売売上高	1日:中国6月財新製造業PMI 5日:豪州金融政策決定会合 、中国6月財新非製造業PMI 7日:中国6月外貨準備高 9日:中国6月PPI・CPI	1日:日銀短観 、5月失業率、5月有効求人倍率 5日:5月毎月勤労統計 7日:6月オフィス空室率 8日:5月国際収支、5月家計調査、6月景気ウォッチャー
13日:6月消費者物価指数(CPI) 、バージェブック 14日:6月生産者物価指数(PPI) 15日:6月小売売上高、6月鉱工業生産、7月ミシガン大学消費者センチメント指数	13日:ユーロ圏5月鉱工業生産、イギリス5月鉱工業生産 15日:ユーロ圏5月貿易収支 20日:ユーロ圏7月消費者信頼感指数、イギリス6月CPI	13日:中国6月貿易収支 14日:豪州6月雇用統計 15日:中国4-6月期GDP成長率 、中国6月固定資産投資、中国6月鉱工業生産、中国6月小売売上高	11日:5月機械受注 12日:6月PPI
22日:7月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 26日:5月S&Pコアロジック・ケースシラー住宅価格指数、7月消費者信頼感指数 26-27日:FOMC 27日:6月耐久財受注 28日:4-6月期GDP成長率 29日:6月個人所得、6月個人支出(PCE)、6月PCEデフレター	21日:ECB理事会 22日:ユーロ圏7月PMI、イギリス6月小売売上高 25日:ドイツ7月IFO企業景況感指数 29日:ユーロ圏7月CPI、4-6月期GDP成長率	21日:インドネシア金融政策決定会合 、 トルコ金融政策決定会合 28日:豪州6月小売売上高 31日:中国7月製造業・非製造業PMI	20-21日:日銀金融政策決定会合 21日:6月貿易収支 22日:6月全国CPI 29日:6月失業率、6月有効求人倍率、6月小売業販売額、6月鉱工業生産

(注) 2022年6月27日現在。日付は現地時間。（出所）各種報道等より三井住友DSアセットマネジメント作成

ここもチェック! 2022年6月20日 物価上昇率8%超え局面での債券投資
2022年6月17日 米国株が調整するなか、中国株が上昇

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。